

洋光台駅前公園プレイパークの取り組み

Activities of Playpark in Yokodai

はまぎん こども宇宙科学館

HAMAGIN SPACE SCIENCE CENTER

Goal 11

はまぎん こども宇宙科学館では、科学館に隣接する洋光台駅前公園にて開催している「プレイパーク」の取り組みを支援しています。プレイパークとは、「子どもがもっと自由に遊べる場を」という思いをもとにつくられた、禁止事項を極力なくした野外の遊び場で、木登りやターザンロープ、泥遊び・水遊び、焚火など、子ども達が挑戦できるような場所を設けています。横浜市では現在この取り組みが市内 25 か所の公園などで開催されています。

科学館がある横浜市磯子区洋光台地区のプレイパークの活動は、自治会と行政の支援を受け、洋光台駅前公園プレイパーク運営委員会と地域のボランティアグループが主導で展開しています。それらに所属する大人以外に、プレイリーダーと呼ばれる専門のスタッフが常駐し、子ども達がいきいきと遊べる環境を作ったり、事故予防の危機管理を行っています。主に毎月 2 回開催され、参加者は未就学児とその保護者、近隣の小学生や幼稚園・保育園の園児がほとんどです。最近では近隣のみならず、鎌倉など遠方からも口コミで評判を聞きつけ参加される方もいます。平成 29 年度は 22 回開催し参加者数は 2,726 名となりました。科学館からは毎回職員が参加し、運営のサポートや遊びの道具や材料の提供を行っています。

プレイパークが開催できているということは、子育てを応援する地域コミュニティが創られているということになります。今後も自治会・地域、行政と科学館が協力し、安心して住み続けられるまちづくりを支援していきます。

